

気軽に
報告！！

レベル0インシデントレポートの推進 南病棟7階

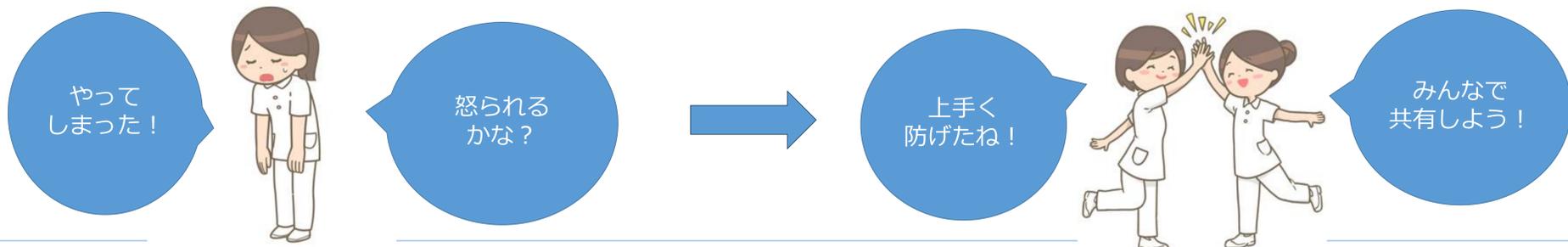


・インシデントレポートとは・・・医療事故、医療ミスにつながる出来事の報告書です
病院職員は、日々様々なインシデントレポートを医療の質・安全管理部に報告し、対策を考え、スタッフで共有しています

・南病棟7階ではインシデントレポートの中でも、**レベル0（誤った医療行為が実施される前に気が付いたもの、未然に防ぐことができたもの）**のレポート報告に力を入れています

レベル0インシデントレポート報告のメリット

- ・重大なインシデントにつながる前に対策を立てることができる
- ・日常に潜んでいるよくある事例を共有することができる
- ・ミスを責められている気持ちにならず、前向きに医療安全に取り組むことができる



取り組み1

まずはレベル0を書いてみよう！

- ・レベル0は実際に起きてしまった事例ではないため、気づきにくく、レベル0を書くことをスタッフに意識してもらう必要がありました
- ・しかし、ただ報告数を増やすことを目標とすると業務量が膨大となってしまう、スタッフの負担が増えてしまいます
- ・そこで、まずは**1年に1人1事例**を目標とし、**レベル0を気軽に書いてもらう**ことにしています

取り組み3

成果を可視化！

- ・成果がわかるように、誰が何件レベル0を報告しているのか表にして貼り出しました



意欲的にたくさん提出してくれるスタッフもいます

取り組み2

報告に感謝！！

- ・インシデントレポートは書くだけで大変です
- ・報告してくれたら「お疲れ様！」、「ありがとう！」と伝え、むやみに内容の修正は行いません



取り組み4

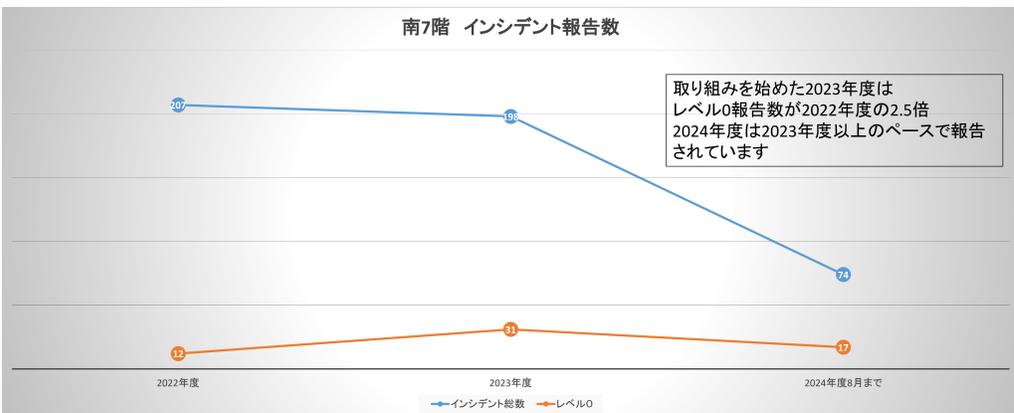
ジュニアリスクマネージャーが発信！

- ・報告されたレベル0は病棟のミーティング、カンファレンスで共有します
- ・師長、副師長からだけでなく、ジュニアリスクマネージャー（中堅、若手の医療安全担当者）からも発信してもらいます



新人さんのレベル0報告もありました！

南7階 インシデント報告数



実際の事例を紹介

・手術のために入院。その手術は痛い時には○○○○（薬剤）、気持ち悪い時は△△△△（薬剤）、眠れない時は◇◇◇◇（薬剤）を使用するようシステムに標準で組み込まれていた。患者はパーキンソン病の既往があり、◇◇◇◇は禁忌であることを担当看護師が気がつき医師に報告した。実際に禁忌薬剤を投与することを防ぐことができた。

2023年度から『気軽に報告』の取り組みを始めて、2023年度は16件、2024年度は8月までに14件、good jobレポートと認定していただきました
これからも南病棟7階スタッフ一同、全力で医療安全に取り組んでいきます！

